

# 高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)

むらやまけじゅうたくおもや

## 村山家住宅主屋

新高総早  
見梁社島  
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠  
掛原口庄岡  
町市市町市



場所

倉敷市児島下の町



時代

明治時代



指定年月日

平成9(1997)年  
6月12日



所有

個人



見学

見学可



### この建造物について

村山家住宅は、明治24(1891)年に高田氏(西高田)の邸宅として建てられた、木造二階建ての洋風建物です。

西高田は幕末以来、塩業で財をなした高田三家のひとつで、明治中期には紡績所の創設や経営にも携わっていました。

昭和10(1935)年から昭和36(1961)年までは、村山氏が開いた外科医院として利用されました。その後は村山氏の居宅として、建築当初の形態をほぼとどめて現在に至っています。

各部に、美しい洋風装飾の工夫が施されている建物です。